

未来の長浜市を創造するまちづくり委員会

自然・生活分科会 議事録

報告日 平成21年5月18日

日時	平成21年 5月14日(木) 18:00 ~ 19:45		
場所	高月町役場 1階 1-A会議室		
議題	自然環境の保全・再生について		
出席者	茂森伍朗会長、大橋香代子委員、伊藤昇太郎委員、柴田昌彦副会長、吉田徳夫委員、浅井憲彦委員、佐藤登士彦委員、山口正之委員		
市	分科会事務局 環境保全課 若林 中川		
6町	高月町生活環境課職員、木ノ本町 まちづくり課職員		
傍聴者	あり(人)・なし	報道機関	あり(新聞社)・なし

【協議結果】

- ① 自然環境の保全再生について
 - ・今回会議で各市町の課題などを列挙した結果を次回会議で抽出すると決定した。
 - ・次回会議で各市町の特長ある取組を報告する。

- ② 次回日程とテーマ
 - ・次回日程 7月16日(木) 18:00~20:00
 - ・次回開催場所 「湖北町役場」
 - ・次回テーマ 「課題などの抽出と各市町の特長ある取組報告について」

- ③ その他
 - ◎市の他の所管課への要請等(分科会事務局対応)
 - ・特になし
 - ◎6町への要請等(企画調整課対応)
 - ・次回分科会を湖北町役場で開催したいので、会議室の予約を依頼する。
 - ・事務局員として1名参加を依頼する。

【主な意見】 (要点列記)

- 会長
副会員 自然環境保全・再生で次代に残す再生の形、現状などの意見を願います。
湖北町はエコタウン構想で①生ごみ肥料化②早崎内湖再生③下水道関係インフラ整備（農村下水→公共下水）があります。
- 会長
A委員 黒板に各委員から出た意見を項目毎に書き意見を出し易くします。
事務局 伊吹の生ごみ収集は、軌道に乗り各家庭に還元されていますか。
B委員 伊吹地区で一部取り組んでいます。
事務局 伊吹の事業は補助は出ていますか。
B委員 補助は出ています。
C委員 生ごみ処理機は、おが屑などの交換を要し、コスト高により長続きしない。
C委員 生ごみ処理機の補助制度があります。
C委員 竹やぶが多く里山の再生が必要。雨森では、県の補助で竹の干ばつを行なっています。
- 会長 放棄地周辺の環境整備を行なっています。放棄地はダム役割を持ってません。
A委員 蛍の住める自然環境保全が必要です。
3面コンクリートでも草があれば蛍は生息するが、河川清掃で蛍がいなくなります。
B委員 甲良町では、集落へ補助金を出し自然の川づくりが進められ今では全国から研修に来ています。
- 副会長
D委員 環境は、年十年というサイクルで考える必要があります。
余呉は、新市面積の24%の区域だが、高齢化により林業が衰退し雨が降れば、一気に濁流になる。また、景観上の問題で不法投棄（ポイ捨て）があります。
- 会長
E委員 長浜でも粗大ごみ対策が必要です。
F委員 姉川堤防の樹木伐採を実施しましたが、その後不法投棄が目立ちます。
E委員 電気柵で獣害対策を行なっています。
竹生島は歴史的な建造物であり、観光客を山に導くなど早急なカワウ対策が必要です。
- 会長
E委員 湖北の琵琶湖は深く冷たい水。素晴らしい財産であり、湖北の琵琶湖をテーマにすれば、国も動きます。
D委員 都会人は、きれいな水のある地域に住みたいと考えています。
D委員 菅並地区は、きれいな水に恵まれています。余呉の米はうまいので発信したい。
- 会長
副会長 十分に発信、宣伝ができていません。
F委員 余呉は自然環境を生かします。
日本の重要湿地である山門水源の森は平成18年ごろから一般公開していますが、来訪者により「ごみ」で自然が壊れます。
- F委員 北湖も「カワウ」「赤潮」被害があり、里山リニューアル事業や農村まるごと保全事業も行なっていますが、環境教育など行政主体から住民主体への意識改革が必要です。
- 会長
F委員 この分科会は、ここに住みたいが基本です。
副会長 山門水源の森には、アカガシなど希少植物があります。
6, 7割は生活用水で汚染されています。洗剤は2, 3日で自然に帰る物を使用しています。
- E委員 天ぷら油を地域づくり協議会で収集しています。1回目の収集量は多かったですと聞いています。
- D委員 余呉も回収しています。

副会長	廃油の取組などちょっとした事で、変わって行きますが、しりすぼみになって続きません。
事務局	ごみは市全体で増えていますか。ごみの問題は社会問題です。
D委員	分別していますが、全体量は横ばいです。
A委員	ザゼンソウが3月~4月に咲きますが、猪の食害にあっています。
会 長	観光名所にすれば人が来ます。開発しない「ありのままの環境保全」が大事です。
副会長	生物の住む環境が大事です。
B委員	山本では大鷲の写真が撮られています。
会 長	上流の人は、ごみを下流に流さないよう気を付けましょう。
A委員	少なくなったワタカが琵琶湖をきれいにしました。
A委員	鯉は雑食性でカワニナも食べます。水生生物も住めません。
B委員	浅井の池にハリヨがいます。希少生物の保全が必要です。
A委員	環境面から丹生ダムは反対です。
D委員	下流では越流被害があり、ダム希望が多いです。
A委員	丹生ダムの現状は環境に悪影響を与えます。早期に完成を。今の状態で中止なら大変なことになります。
会 長	ザゼンソウの保全など市で行なっているまちなみ保存の補助金制度を活用されたらどうでしょう。
事務局	地方分権とは、地域が行政から補助を受けることです。
会 長	地域まちづくりをどのように仕上げるかが、課題です。
事務局	今までの意見から、今後、現地視察は可能ですか。
会 長	確認しますが、可能と考えます。
	今回は、各市町の課題などを上げましたが、次回は、課題などの抽出と各市町の特長や誇れる取組を報告してもらいます。